

櫻だより



氷見市立北部中学校
校長室から
令和7年9月19日

第52回運動会

1日順延となったが、無事に運動会が行われた。

各係では、普段おとなしい生徒も笑顔で係の仕事を行っていた。

競技では一生懸命に走り、そして一生懸命に応援する姿が見られた。

応援では、練習の時から大きな声で1、2年生に指導し、鼓舞してきた3年生。

応援合戦本番では、我こそが主役とグラウンドで弾けていた。

リレーでは、教員チームが生徒に負けじと走る。生徒も全力で走る。

応援席の様子も一体感があって素晴らしかったし、見応えがあった。

解団式の3年生の姿を見ると、やり切った感であふれていた。

お世辞抜きで、いい運動会だったと思う。

頑張った生徒たち、そしてここまで準備、指導と努力してきた教職員、北部中学校全ての力が結集した運動会だったと思う。ご苦労様でした。

運動会が、3年生を3年生らしい学校のリーダーとして育ててくれるのかもしれない。

元気に走り回り、涙する3年生を見ると、運動会って大切な行事だと思う。

3年生の姿を見て、「今度は自分たちが」と、1・2年生も育っていく。

学年の縦割り行事が少ない中、運動会で生まれる縦のつながりは大切だ。

そして、青空の下で走る姿は力強く感じられて「やっぱり運動会は外だよな」とも思う。

ただ、最近の気温やゲリラ豪雨を考えると…。

本校の運動会は今年で52回目。

第50回までは9月上旬に行うのが当たり前だった。

だけど、あまりにも暑く、練習もできない状況のため、昨年から9月中旬以降に変更した。

なのに暑い。水曜日は猛暑日に迫る気温。そして木曜日は雷雨。今日は偶然いい日？

来年度も運動会は思いっきりやらせてあげたい。

だけど、年々暑くなる中で、安心安全な運動会ができるのか心配も尽きない。

発想を変えて、ふれあいスポーツセンターを借り切る計画はできないか？

いやいや、室内でやると運動会の伝統を受け継ぐことができなくなるのでは？

伝統について、柔道創始者の嘉納治五郎先生は、次のような言葉を残している。

「伝統とは形を継承することを言わず、その魂を、その精神を継承することを言う」

形ではなく、「生徒が育つ運動会」という精神を継承すれば、室内でもできる？

予測できない時代である。伝承すべき精神を受け継ぎつつ、柔軟に対応することが必要だ。

何を残し、何を改革していくか、皆さんと協議をすすめていきたい。

ともかく、今年もいい運動会でした。ありがとうございました。